

科目名	チーム医療論						授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	8	回	時間数	15	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期	
【授業の目的・ねらい】 医療現場には様々な専門職が関わる。患者のアウトカムとQOLを高めるには、各専門職がそれぞれの専門性を発揮するだけでなく、その枠組みを超えた視点を持ち、連携することにより、質の高い医療の提供と医療の安全性を高めることが可能となる。本講座ではチーム医療の概念と個々の専門職の果たすべき役割と責任について学ぶ											
【実務者経験】											
【授業全体の内容の概要】 患者のアウトカムを最適にするチーム機能と多職種連携と協働について学ぶ 積極的にチーム医療に参画できるようになるための知識・技能・態度を修得する											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ①チーム医療の目的と目標を説明できる。②患者の診療過程を理解し、携わる職種の専門性・役割・責任を関連付けて説明できる。③チーム医療の立場に立って医療を考えることができる。④チームの構成員とコミュニケーションをとることができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	チームとグループ、仲間の違いを学ぶ										
2	「コンセンサスゲーム」を通して合意形成と目標の達成を実感する										
3	臨床現場でのチーム医療の実際を知る										
4	教員デモンストレーションと質疑応答で専門性を深める										
5	多職種連携の実際（医療現場でのチーム活動の実際）										
6	チーム医療の実際（DMAT, NST, RST等）										
7	アウトカムを最適にするチームワークとは何かを学ぶ										
8	まとめ：チームとは何か？個人として職種として組織として										